

公明、現場の声聴き推進

ネットワークで取り組み加速

高木政調会長

公明党の高木陽介政務調査会長は14日、国会内で記者会見し、同日に成

立した認知症基本法に関して「公明党は、認知症施策の推進は待ったなしの課題として、一貫して取り組みを推進してきた」と訴えた。

高木政調会長は、党を挙げたアンケート運動などを通じて、認知症に関する現場の声を聴取してきたと強調。国政選挙の公約や今春の統一地方選

挙の重点政策でも基本法の制定を掲げてきたと力説した。

今後は、当事者や家族が安心して暮らせる環境の整備が急務になるとの



記者会見で見解を述べる高木政調会長 14日 国会内

認識を示し、公明党のネットワークの力を駆使して「地方議員と連携しながら、地域の実情に応じた施策の推進を一層加速化させたい」と訴えた。